



KODAK ACHIEVE T400/T800 PLATESETTER



**確かな安定性・信頼性に加え、
優れた経済性を実現**

高い出力品質と経済性を両立

KODAK ACHIEVE T400 / T800 プレートセッターは、KODAKのCTPラインアップのなかでも最も経済性に優れたモデルです。KODAKが誇るサーマルCTPテクノロジーのノウハウを惜しみなく投入し、競合他社との差別化に必要な優れた安定性と信頼性、そして高い出力品質を提供します。実績あるTRENDSETTERと同じベースフレームを採用し、省スペース化を図ると同時に、シンプルな操作性、作業性、メンテナンス性を実現。専用のレーザーヘッドも新たに開発し、品質・生産性を犠牲にすることなく大幅な省電力化も図っています。最高出力スピードはACHIEVE T400で毎時26版、ACHIEVE T800で毎時17版。コストパフォーマンスに優れたエントリーモデルながら、高速・高品質で信頼性の高いプレート出力を実現しています。さらにSCUやMCUといった豊富な自動化オプションも用意して、お客様のビジネスのさらなる成長をサポートします。

柔軟性・生産性をさらに高める先進のオートメーション

プリプレス工程を自動化し、スルーットと生産効率を最適化すれば、省力化・コスト削減という経営課題の解決につながります。ACHIEVE プレートセッターには、幅広いビジネスニーズを満たす豊富な自動化オプションが用意されています。



セミオート(SA)モデル

手差しで1枚ずつ給排版を行うスタンダードモデル。



オートアンローダー (AU) モデル

手差しでプレートをセットし、露光後は本体背面のテーブルに排出し、自動現像機またはスタッカーに自動搬送。(オプションでアン



オートローダー (AL) モデル

オートローダーユニットに合紙を取り除いたプレート(0.3mm厚)を最大83枚まで収容でき、給排版を完全自動化。(オプションでアンロード時に90度回転可能)



シングルカセットユニット(SCU)モデル

同じサイズの合紙付きプレート(0.3mm厚)を最大120枚セットでき、給排版を完全自動化。さらにトローリーオプションを使えば、版の補充や交換も容易。(オプションでアンロード時に90度回転可能)



マルチカセットユニット(MCU)モデル

標準で2カセット・240枚、オプションで最大4カセット・480枚までの合紙付きプレート(0.3mm厚)を収容でき、給排版を完全自動化。各カセットにはそれぞれ異なるサイズのプレートが収容でき、プレートサイズもジョブ定義に従って自動選択されるため、長時間の完全無人運転が可能。(オプションでアンロード時に90度回転可能)

動画はこちら



マニュアルバイパス機能

サイズの違うプレートを手動で素早くセットして出力できるため、割り込みや急ぎの仕事に柔軟に対応可能。

※AL、SCU、MCUに標準装備



インラインパンチオプション

最大10個のパンチヘッドが搭載でき、多種多様な印刷機に対応可能。

※AU、AL、SCU、MCUに装備可能

生産性のさらなる向上

最大で4種類・480枚のプレートが収容可能なマルチカセットユニット(MCU)モデルなら、長時間の連続自動運転が可能。プレートサイズもジョブにあわせて自動的に選択されるため、省人化にも大きく貢献します。このMCUの他、オートアンローダー(AU)から、オートローダー(AL)、シングルカセットユニット(SCU)まで、お客様のビジネスニーズに最適な自動化オプションを選択できます。

消費電力400Wと環境負荷を大幅に低減

KODAK SONORAプロセスフリー プレートとの組み合わせによって、環境負荷の低減が可能。現像処理工程をなくすことで、環境への影響を完全に排除できます。またACHIEVEは、新しいレーザー冷却システムの採用により、イメージング中の消費電力をわずか400Wに抑え、一部の競合他社製CTPと比べて最大93%の電力削減に成功しています。

省スペース・コンパクト設計

TRENDSETTERと同じベースフレームを採用したACHIEVEは、省スペース・コンパクト設計のため、設置スペースの確保に困ることはありません。ボディが小さければ、輸送の手間とコストも削減できます。MCUモデルを例にとると、競合他社の同等ソリューションより最大で65%の省スペース化が図られています。

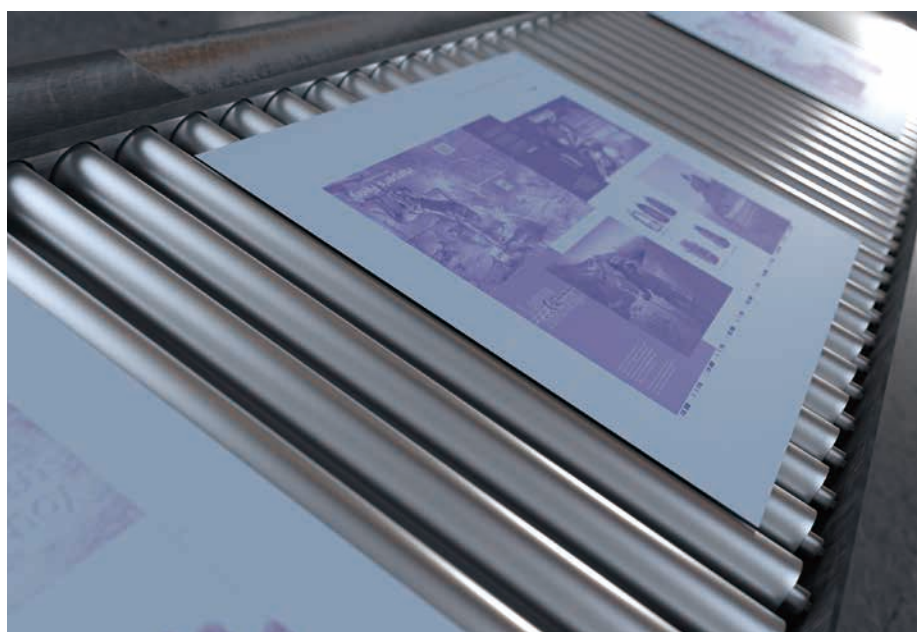
新開発のイメージングテクノロジー

ACHIEVEは、新しいTH5サーマルヘッドのライトバルブテクノロジーを採用し、高品質なイメージングを実現しています。競合他社のCTPが採用しているガウシアンレーザーよりも正確で均一なドットが描画でき、優れた階調再現と露光の安定性を提供します。また稼働部品の少ないシンプルで堅牢なボディ構造を採用し、TH5サーマルヘッドを含め優れたメンテナンス性を実現しています。

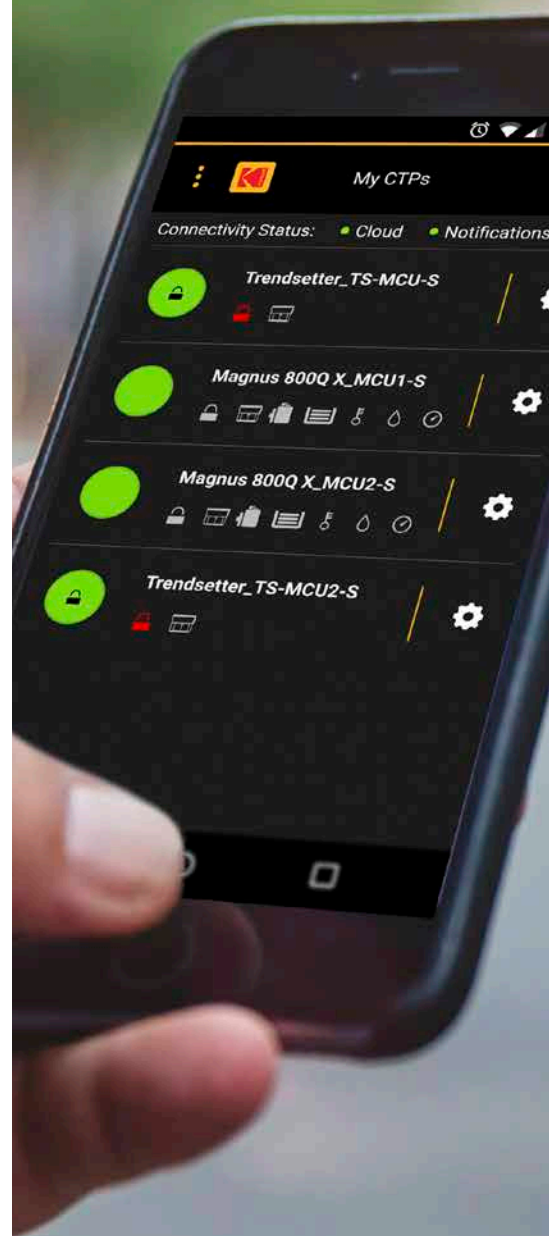
モバイルによる遠隔監視と操作

オプションのKODAK Mobile CTP Control Appを使えば、スマートフォンやタブレット端末(Android・iOS対応)から、ACHIEVEをリモートで監視・制御できます。刷版室が無人でもCTPの稼働状況やジョブの進捗状態が把握できるほか、キュー内の出力ファイルの再出力も可能です。

動画はこちら



完全無処理CTPプレートSONORAとの組み合わせは環境負荷を軽減する最良のソリューション





KODAK ACHIEVE T400 / T800 プレートセッター

テクノロジー	サーマルライトパルプ TH5 イメージングテクノロジー、830nm 赤外線レーザー、外面ドラム方式	
インラインパンチオプション※1	<ul style="list-style-type: none">最大 10 個のパンチヘッドを搭載可能各パンチの運用はワークフローのジョブ定義に従って自動的に選択出力されるプレートの先頭側にパンチ加工パンチ基準は自動センタリング方式	
対応メディア	KODAK SONORA、KODAK TRILLIAN SP サーマルプレート	
パフォーマンス仕様	ACHIEVE T400	ACHIEVE T800
生産性※2-3 (出力版数/時、2,400dpi)	S スピード: 毎時 23 版 F スピード: 毎時 26 版 ※ プレートサイズ 560×670 mm (ドラム円周方向 × 軸方向) の場合	S スピード: 毎時 16 版 F スピード: 毎時 17 版 ※ プレートサイズ 800×1,030 mm (ドラム円周方向 × 軸方向) の場合
再現性(繰り返し精度)	同一版への 2 重露光で ±5 ミクロン	
出力精度	同一装置で出力した 2 枚のプレート間で ±20 ミクロン	
見当精度	露光イメージとプレートエッジ間で ±25 ミクロン	
ワークフロー製品との接続	TIFF ダウンローダーソフトウェアを搭載した KODAK プリントコンソールを標準で付属 KODAK PRINERGY ワークフローシステム及びほとんどのサードパーティ製ワークフローシステムとの接続が可能 オプション: <ul style="list-style-type: none">JDF / JMF コネクションオプションにより、KODAK プリントコンソールからジョブ及び CTP の稼働状況を提供可能KODAK Mobile CTP Control App で、CTP 出力状況の遠隔監視及び再出力操作が可能	
イメージング仕様	ACHIEVE T400	ACHIEVE T800
解像度	2,400 / 1,200 dpi	
最大スクリーン線数	AM: 最大 200 lpi (標準) FM: 36 ミクロン KODAK STACCATO スクリーニング (オプション)	
最大プレートサイズ※4 (ドラム円周方向 × 軸方向)	838×990 mm※5	SA: 838×1,143 mm※5 AU / AL / SCU / MCU: 838×1,118 mm
最小プレートサイズ※4 (ドラム円周方向 × 軸方向)	SA: 267×215 mm AU / AL / SCU / MCU: 330×270 mm※6	SA: 267×215 mm AU / AL / SCU / MCU: 330×270 mm※6
最大イメージエリア (ドラム円周方向 × 軸方向)	827.9×990 mm	SA: 827.9×1,143 mm AU / AL / SCU / MCU: 827.9×1,118 mm
外形寸法/重量		
外形寸法 (高さ × 幅 × 奥行) / 重量	SA : 160×200×120 cm / 650 kg AU : 170×200×128 cm / 762 kg AL : 184×200×128 cm / 796 kg	SCU : 186×233×231 cm / 1,158 kg MCU : 191×233×254 cm / 1,837 kg インラインパンチオプション: 102×151×120 cm / 177 kg ※プレート回転オプションのロングアンロードテーブルは、高さ 210cm で、奥行は 53cm 長くなり、重量も 10kg 加算されます。

ACHIEVEはクラス1のレーザー製品で、欧州のEN60825-1および米国の連邦規則21 CFR 1040.10-CDRHに完全に準拠しています。

※1 シングルプレートローディングのみをサポート。デュアルプレートローディング (SCU / MCUはオプション)、回転搬送テーブルとの組み合わせは不可。

※2 生産性は、使用するメディアの感度で異なります。表中の数値は、感度120mJ/cm²のKODAK プレート使用時の場合です。

※3 生産性は、KODAKワークフローシステムを接続して出力した数値です。出力条件の詳細についてはKODAKの営業担当者にお問い合わせください。

※4 寸法精度は、0.15~0.3mmの標準プレート測定ゲージによる値で、0.15~0.2mmゲージ使用時には異なる数値となる可能性があります。

詳細についてはKODAKの営業担当者にお問い合わせください。

※5 SA / AU / ALは、標準でプレートサイズ最大450mm (軸方向) のデュアルプレートローディングをサポート。SCU / MCUはオプション。

※6 プレート回転オプション使用時の最小プレートサイズは383mm (ドラム円周方向)。マニュアルバイパス時の最小プレートサイズは305×215mm。

[KODAK.COM/GO/CTP](https://www.kodak.com/go/CTP)

©KODAK, 2023. KODAK, ACHIEVE, ELECTRA, MAGNUS, PRINERGY, SONORA, STACCATO, TRENDSETTER, TRILLIAN および KODAKロゴはKodak社の商標です。
仕様は予告なく変更になる場合があります。K-1047.23.11.16.JA.01

コダック ジャパン <https://www.kodak.com/ja>

〒140-0002 東京都品川区東品川4-10-13 TEL.03-6837-7285(営業代表) 大阪:050-3819-1266 名古屋:050-3819-1265 福岡:050-3819-1270 札幌:050-3819-1250

2023-12